

光り輝くゴールド集落

市では、過疎化や高齢化が進むゴールド集落(限界集落)について、地域が抱える課題の解決と、市民が住み慣れた地域に安心して住み続けられる地域づくりを推進することを目的に、ゴールド集落活性化条例を平成22年に制定し、さまざまな支援を行っています。

今回は、ゴールド集落活性化事業を活用して、祁答院地域で活動している事例(団体)を紹介します。

※ゴールド集落とは？

毎年1月1日現在の住民基本台帳に登録された65歳以上の人口割合が、50%以上の自治会の区域で、本市独自の呼称です。

平成25年度は、85自治会がゴールド集落に該当しています。

滝間自治会(上手地区)

グラウンドゴルフ大会やおおじょ会サロン(女性を中心としたサロン)活動を中心に、敬老会や環境美化活動を行っています。

また、自治会員が自治公民館に集まりやすくするために、トイレの洋式化や玄関付近に手すりを設置するなどの事業も行っていきます。



▲お茶も楽しみの一つ



▲グラウンドゴルフ大会の1コマ



▲敬老会で血圧測定



▲ゲームをしながら健康づくり

矢立自治会(黒木地区)

「生き生き、楽しく」をモットーに敬老会、環境美化活動をはじめ、田の神餅つき活動や、いきいきサロン事業を行っています。

また、農作物を守るために、有害鳥獣侵入防止ネット設置なども行っています。

中自治会(黒木地区)

花いっぱい活動や敬老会などの活動に取り組んでいます。

無病息災を祈願する「鬼火焚き」などの、伝統行事の継承も行っていきます。

また、毎月1回サロン事業を行っており、七夕作りやぜんざい作りなどの活動をしています。



▲飛び入り参加で楽しい踊りもありました。



▲きれいか花を植ゆっど～!!

【問合せ】=本庁コミュニティ課コミュニティ・生涯学習グループ ☎(23)5111(内線4613・4614)



宿泊碑の設けられた森園病院駐車場西側の一角



頼山陽宿泊碑(大小路町)

頼山陽とは

頼山陽は、江戸時代後期に活躍した人物です。漢学者でありながら史家(歴史家)でもあったといわれています。

著書に源氏と平氏から徳川氏に至るまでの武家の興亡を記した「日本外史」や、史論を書いた「日本政紀」があります。

詩人としても活躍し、その詩集は「日本楽府」「山陽詩鈔」などがあります。

山陽西遊行程

山陽は、日本における外史(民間で書かれた歴史書)の史実を実際に自分の目で見て、その肌で

川内での宿泊

感じるために旅に出ました。九州地方への旅の際、本市にも立ち寄っており、山陽の旅のルートは山陽西遊行程と呼ばれる(長崎→熊本→天草→出水→西方→高城→川内→鹿児島→加治木→大川→水俣→熊本→下関)。

旅の道中、山陽は、文政元年(1818年)の重陽の節句の日に川内を訪れ、大小路町にあった永井旅館に宿泊しました。川内特有の方言に戸惑い、節句の祝いに大勢で盛り上がる人々の中に、單身部屋に残り、孤独感におそわれた山陽は、遠方の友や母を想い、詩を次々と作ったといわれています。その中には、島津氏や豊臣秀吉など、川内にゆかりのある言葉を思わせる句も存在します(「石曼子行」と題された七言絶句)。

頼山陽宿泊碑

山陽が川内に泊まったという記念碑が、現在、森園病院の駐車場の一角に存在します。

この碑は、森園病院の初代院長森園松義氏が、永井旅館から築山と併せて譲り受け、市に寄贈し、昭和26年12月に現在の形となって保存されています。

今回紹介した文化財位置図



注釈
※1 9月9日の菊の節句
※2 島津を指す。
※3 漢詩の詩形のひとつで、7文字の句4句から成る。
※4 日本庭園などにみられる、観賞用の人工の山のこと。
今回は「川合陵」を紹介します。
*前回「倉野磨崖仏」で記載しました「胎造界」は、正しくは「胎蔵界」でした。おわびして訂正します。

【問合せ】=教育委員会文化課 ☎(23)5111(内線5233)